

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公表番号】特表2006-507231(P2006-507231A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-521793(P2004-521793)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 N	15/00	Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

T細胞またはT細胞集団においてインターフェロン(I FN)レベルを阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該T細胞または細胞集団中においてI FNを阻害するのに十分な量のIL-21アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号2と少なくとも85%であるアミノ酸を含むIL-21ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、IL-21Rに結合しえる、組成物。

【請求項 2】

T h 前駆 (T h p) 細胞または細胞集団の、T h 2 細胞または細胞集団への分化を促進するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該 T h p 細胞または細胞集団の T h 2 細胞または細胞集団への分化を誘導するのに十分な量の I L - 2 1 アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号 2 と少なくとも 85 % であるアミノ酸を含む I L - 2 1 ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、I L - 2 1 R に結合し得る、
薬学的組成物。

【請求項 3】

T h p 細胞または細胞集団の、T h 1 細胞または細胞集団への分化を阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該 T h p 細胞または細胞集団の T h 1 細胞または細胞集団への分化を阻害するのに十分な量の I L - 2 1 アゴニストを含有し、ここで、該アゴニストは、配列番号 2 と少なくとも 85 % であるアミノ酸を含む I L - 2 1 ポリペプチドであり、そして該アゴニストは、I L - 2 1 R に結合し得る、
薬学的組成物。

【請求項 4】

請求項 1、2、または 3 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記ポリペプチドは、配列番号 2 のアミノ酸配列を含む、薬学的組成物。

【請求項 5】

請求項 1、2、または 3 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、エキソビボ、インピトロ、またはインビボでの投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 6】

請求項 1、2、または 3 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記接触工程が、哺乳動物被験体において行われる、薬学的組成物。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記哺乳動物被験体がヒトである、薬学的組成物。

【請求項 8】

T h 前駆 (T h p) 細胞または細胞集団の、T h 2 細胞または細胞集団への分化を阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、以下：

該 T h p 細胞または細胞集団の T h 2 細胞集団への分化を阻害するのに十分な量のインターロイキン - 2 1 (I L - 2 1) / I L - 2 1 レセプター (I L - 2 1 R) のアンタゴニストを含有し、ここで、該アンタゴニストは、抗 - I L 2 1 R 抗体、抗 - I L 2 1 R 抗体の抗原結合フラグメント、および I L - 2 1 R の可溶性フラグメントからなる群から選択される、
薬学的組成物。

【請求項 9】

T 細胞または細胞集団においてインターフェロン (IFN) レベルを増加するための薬学的組成物であって、以下：

該 T 細胞または細胞集団の IFN レベルを増加するのに十分な量の I L - 2 1 / I L - 2 1 R アンタゴニストを含有し、ここで、該アンタゴニストは、抗 - I L 2 1 R 抗体、抗 - I L 2 1 R 抗体の抗原結合フラグメント、および I L - 2 1 R の可溶性フラグメントからなる群から選択される、
薬学的組成物。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記 I L - 2 1 R の可溶性フラグメントが、I L - 2 1 レセプターの細胞外領域を含む、薬学的組成物。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の薬学的組成物であって、前記可溶性フラグメントが、配列番号 4 のアミノ酸 20 ~ 235 と少なくとも 85 % 同一であるアミノ酸配列を含み、そして、IL-21 に結合し得る、薬学的組成物。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記可溶性フラグメントが、配列番号 4 のアミノ酸 1 ~ 235 を含む、薬学的組成物。

【請求項 13】

請求項 10 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記可溶性フラグメントが、さらに Fc フラグメントを含む、薬学的組成物。

【請求項 14】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記アンタゴニストが、抗-IL-21R 抗体またはその抗原結合フラグメントである、薬学的組成物。

【請求項 15】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、エキソビオ、インピトロ、またはインピボでの投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 16】

請求項 8 または 9 に記載の薬学的組成物であって、ここで、該薬学的組成物が、哺乳動物被験体への投与に適している、薬学的組成物。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記哺乳動物被験体がヒトである、薬学的組成物。